



TITLE:

# 研究開発コロキアムの概要

AUTHOR(S):

赤沢, 真世

---

CITATION:

赤沢, 真世. 研究開発コロキアムの概要. 子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究をめざして 2012, 活動報告書(2007-2011年度): 89-89

ISSUE DATE:

2012-03-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179716>

RIGHT:

## ▶教育・研究プログラム▶研究開発コロキウム

## 研究開発コロキウムの概要

院生主体課題探究・討論科目である「研究開発コロキウム」は、本研究科院生の学術研究活動の発展を図るため、2006年度より実施している。コラボレーション・センターにおいても、センターが設立された2007年度から、本プログラム「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究推進事業」に関連する優れた研究計画に対し、科学研究費に準ずる形式でその研究の一部を助成してきた。

研究開発コロキウムは主に博士後期課程の院生が中心となって、時には所属講座や専攻を超えた横断的研究組織を立ち上げ、それぞれが理論・実践融合型のフィールド学として教育学をあらたに構想するための研究課題を設定し、公募・審査を経て共同研究を推進している。

さらにこのプロジェクトの特徴として、各研究課題は、新たに設置された大学院科目「研究開発コロキウム」として編成され、授業時間割に組み込まれている。担

当教員の助言のもと、院生が主体となって授業を運営している。修士課程の場合は、単位認定の対象となる。

その過程で各グループは、通常の授業活動に加え、学外でのフィールド調査や学会発表、シンポジウムや研究会、ワークショップの開催など、きわめて多彩な活動を推進している。そして、その成果は、関連学会や学会誌などでの発表、現場への還元のほか、『研究成果報告書』として各年度末に刊行されている。

2007年度は、7月末に公募を行い、教員による厳正な審査の後、教育実践コラボレーション・センターとして6件の研究課題を採択し、10月より活動を進めた。平成20年度以降は毎年、コラボレーション・センターの活動の3つのユニットに関連する研究課題を前年度の2月に公募し、4月より1年間のプロジェクトとして活動を進めてきた。2011年度までの5年間で合計19件の研究課題が採択された。

以下に採択課題名および研究代表者の一覧を紹介する。

2011年度採択 研究課題名	研究代表者
続・ライフストーリーを活用した地域生涯学習の実証的研究 — 野殿・童仙房における記憶を共同生成し、地域の物語を構築する試み —	鏑 純香
先天性心疾患術後患児の心理臨床学的・発達心理学的研究	中野江 梨子
学校現場における心理臨床的関わりについての実証的研究 — 子どもや学級集団へのアプローチと教師との連携をめぐる —	永山 智之
授業改善に生かす評価方法の理論と実践	羽山 裕子
2010年度採択 研究課題名	研究代表者
精神分析理論から見た「発達障害」というカテゴリーについて — 主にLacan派の視点から —	河野 一紀
ライフストーリーを活用した地域生涯学習の実証的研究 — 野殿・童仙房におけるエコミュージアム活動をフィールドとして —	辻 喜代司
大学院と学校との連携による授業改善	大下 卓司
2009年度採択 研究課題名	研究代表者
思考力・判断力・表現力等の育成を目指す評価方法の開発と授業づくり	細尾 萌子
学校現場における心理臨床的関わりについての実践的研究	森田 健一
野殿・童仙房地域における生活の中の伝統行事のフィールドワーク — 神社祭祀とその継承を中心として —	辻 喜代司
2008年度採択 研究課題名	研究代表者
一貫教育カリキュラムにおける授業づくりの理論と実践	本所 恵
学校現場における心理臨床的関わりについての実践的研究 — 新しい学びと育ちの場でのとりくみを通じて	西嶋 雅樹
続 野殿・童仙房地域における協働的な「学びの空間」をめぐるフィールドワーク	児玉 華奈
2007年度採択 研究課題名	研究代表者
学力形成に向けた授業づくりの理論と実践	本所 恵
落ちこぼれをつくらないための教育制度研究 — アメリカを事例として —	斎藤 桂
野殿・童仙房地域における協働的な「学びの空間」をめぐるフィールドワーク	児玉 華奈
学校現場体験から見る心理臨床家の専門性	西嶋 雅樹
学校現場における心理臨床的関わりについての実践的研究 — 新しい学びと育ちの場・洛風中学校でのとりくみを通じて —	井上 明美
アジア諸国における生徒の個性に応じた教育に関する研究 — 日本・インド・中国・タイを事例として	小原 優貴